



鳥取こども学園 学園だより

第 33 号

2013年6月1日

○発行
鳥取市立川町5丁目417番地
鳥取こども学園後援会
電話 (0857) 22-4206
<http://www.tottorikodmogakuen.or.jp/>
○振込口座
郵便振替 01490-9-9106
題字 尾崎徳之助

藤野興一園長の全養協会長就任に想つ

施設現場職員の立場から

希望館 館長 西井 啓 二

一、藤野興一園長の全養協会長就任を祝す

平成二五年五月一二日の選挙をもって、社会福祉法人鳥取こども学園常務理事であり、児童養護施設鳥取こども学園の藤野興一園長が全国児童養護施設協議会（以下、全養協）会長に就任しました。

法人職員一同は、藤野園長が会長に就任したことを心を込めて祝そつではありませんか。ここに職員を代表して「就任のお祝いの言葉」を表します。

二、法人職員にとって藤野園長の会長就任の意味とは何か

ともあれ、藤野園長は会長選挙立候補にあたって、園長代行を任命するなど、会長職と園長職を両立する体制基盤を創り上げてきました。しかしながら、現場職員にとって藤野園長の知識と経験・判断力が会長就任によって職に奪われることは、決して喜んで受け入れられることはありません。法人の理念はもとより、心身共に過酷な勤

務の中、子ども達への日々のケアにおいて

藤野園長のリーダーシップに支えを見いだしている現場職員も数多くいることは間違いないと思います。

もしも、藤野園長が会長職に忙殺され、現場を顧みることができなくなったときこそ、我々職員は、藤野園長を失ってはならないと信じます。

三、社会的養護と全国児童養護施設協議会

平成二三年七月に厚生労働省は「社会的養護の課題と将来像」を発表しました。その要旨は「子ども達のケア単位を小規模に移行する」、将来目標として、「社会的養護分野の児童を施設・グループホーム・里親の各三分の一で対応する」ということにあります。これらのことは政治主導で行われており、現時点では反論が出来る状況にはありません。一方、全国の児童養護施設では大・中舎制の施設も多く、入所児童が三分の一に減ずるといふ不安も生じ、この目標に抵抗を示し、反論をしている施設も少

なくありません。全養協が前述の「課題と将来像」の肯定派・否定派に分かれて対立しているということではありませんが、各施設にとっては、「課題と将来像」を実現させるを得ない実情に有りながらも、現場の課題として移行作業に至っているという実感が乏しく、遅滞として進捗しない事情にあります。

四、何故、藤野園長が全養協会長なのか

藤野園長は、児童指導員時代から常に子どもの立場で子どもの権利擁護のために戦い取り組んできた実績があります。そして社会福祉法人鳥取こども学園の「愛は決して滅びない」を実践し、自立援助ホーム、情緒障害児短期治療施設、乳児院、ニート・引きこもり対策・就労支援型作業所、更にはクリニック・退所者支援・CAPTA、鳥取養育研究所等々は、単に業務拡大に手を染めたのではなく、我々の目前に存在する子ども達に必要なこととして強いリーダーシップを発揮して、各施設・事業所の開設を積み重ねてきています。この背景を基礎として、厚生労働省の「社会的養護の課題と将来像」に藤野園長の思想と実践が大きく影響を与えていることは現場職員の誰もが承知していることです。

一方、全養協の前執行部は施設小規模化等の進捗に主導的な姿勢に乏しく、むしろ、

る、「小規模化は慎重に行うべきである」という見解を表するなど、消極的であることを否めません。

これらの実情と経過から、藤野園長は前執行部に任せることが「課題と将来像」の実現を遅らせことにつながり、子ども達の利益が損なわれるという判断に基づき、更に「課題と将来像」に全養協執行部員として携わった責任として全国児童養護施設協議会会長選挙に立候補し当選した次第です。

五、我々は全国児童養護施設協議会藤野会長を応援してはならない

以上の経過を考慮すると藤野園長は、決して名誉や地位を求め、社会福祉法人鳥取ことも学園に利益を導入するために会長に就任した訳ではなく、法人の実践に基づいた社会的養護児童のケアの向上を目標としています。藤野園長にとって、会長に就任することは新しい施設・事業所を開設するに等しく、必要と共に湧き出る意欲に迫られた結果と理解することが正しいでしょう。

さて、社会福祉法人鳥取ことも学園の職員一人一人が藤野園長の会長就任にどのような態度するかは、個別の問題としてでなく、いくつかの要素を考慮しなければなりません。

ひとつは、藤野園長が全養協会長の立場を担って、子どもを主人公に行うチャレンジであるからこそ、我々職員も引き続き子どもを主人公とした施設を更に発展させるという使命をわすれてはなりません。ふたつには藤野園長が会長職に忙殺され、不在の時期があったとしても、法人の理念と藤野園長の思想に従って、よりよい小規模ケアの方法を見出し発展させることにあります。これらのことは、藤野園長が会長職に就任することと直接関係のないことで、むしろ当然のこととして職員が法人の理念に基づいて子ども達のケア向上の業務として取り組むべきことです。従って、藤野園長が会長職に就任することによって新たな業務や理念、尺度が生じたのではなく、職員個々が自覚をもって、「社会的養護の課題と将来像」の実現とケアの質の向上に努めると共に今までと同様に藤野園長と対話を続けることが最も重要な課題でしょう。

我々は鳥取ことも学園藤野園長の目標達成のために支える必要があります。しかし、それは決して全国児童養護施設協議会会長藤野興一を応援することではなく、いつもと同じように、目前にいる子ども達の尊厳と健全な成長を保障し、子ども達との対話を継続することにあると思っております。

法人本部

常務理事 藤野興一 記

一、第一次五カ年計画を終えて

第一次五カ年を、平成二〇年四月一日〜平成二五年三月三十一日とし、この三月で第一次五カ年計画が終了するにあたり、この五年間を振り返りたい。

① 環境整備としては、

平成一八年創立百周年記念事業以降、児童養護施設第二児童棟改築、体育館増改築(平成二〇年度)、鳥取フレンドの改築、乳児部一部改修と小規模ケア実施(平成二二年度)、児童精神科診療所開設(平成二二年度)、地域小規模児童養護施設(平成二二年度、平成二三年度)、鳥取みどり園乳児部の老朽改築、希望館教育棟増築(平成二四年度、二つ目の地域小規模児童養護施設あかり開設、乳児院増築(平成二五年度、など一〇〇%以上の実績を残した。

② ソフト面でも、

平成二三年七月に公表された「日本の社会的養護の課題と将来像」以降、日本の社会的養護は、施設の小規模化、生活単位の小規模化、家庭の養護促進、里親制度拡充の方向に大きく舵を切った。

当法人は、そのバイオニアとして、若者サポートステーション事業の開設、児童養護施設等退所児童アフターケア事業ひだまり開設、キリスト教社会事業研究会の継続(平成二〇年度)、希望館分教室

のぞみ分校開設、「財務分析研究プロジェクト」、「給与改革プロジェクト」検討、里親支援機関事業受託(平成二三年度)、鳥取養育研究所開設、鳥取みどり園創立六〇周年事業(乳児部改築等)、よなご若者サポートステーション開設(平成二五年度)、各施設長の次世代交代(平成二四〜二六年度)等々、急ピッチで進められた。心より感謝申し上げます。

二、第二次五カ年に向けて

① この間、ハード面、ソフト面ともに、早すぎる程のペースで計画を達成できたとは言え、これだけ急ピッチな整備は、法人財政基盤を揺るがす程無理なものとなった。

② 平成二四年度七〇〇万円の赤字を出した「障がい福祉サービス事業はまむら作業所」を初め「自立援助ホーム倉吉スマイル」、希望館通所部門等の運営費の赤字問題も大きな財政的負担となっている。

③ その結果、積立金等の蓄えは底をつくこととなり、第一次五カ年計画は資金的にはゼロからのスタートとなる。

④ 法人本部の組織強化(人事部、財政部、研修部創設)が必要で、特に、財務部の創設、後援会組織の強化等による財政基盤の強化が緊急の課題となつた。

⑤ 更なるご支援をお願いしたい。

■■■■■■■■■■ 本 部 会 計 決 算 書 ■■■■■■■■■■

収 入

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
補助金収入	31,000	31,000	0
寄付金収入	9,000,000	9,326,862	326,862
雑 収 入	661,000	770,163	109,163
受取利息収入	1,000	1,019	19
繰入金収入	3,049,000	3,046,066	Δ 2,934
前期末支払資金残高	6,810,000	8,495,159	1,685,159
合 計	19,552,000	21,670,269	2,118,269

支 出

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
人件費支出	936,000	964,800	28,800
事務費支出	3,965,000	3,965,794	794
元利償還金支出	1,124,000	1,124,000	0
繰入金支出	9,191,000	9,963,384	772,384
合 計	15,216,000	16,017,978	801,978

収入支出差引残金 ￥5,652,291 - は次年度繰越



四月に開設した、鳥取こども学園二カ所目の地域小規模児童養護施設「こどもの家あかり」では幼児一名、小学生一名、高校生三名、大学生一名、職員四名（パート職員一名含）の10名が生活しています。6LDKという広い一戸建賃貸住宅で、子どもたちはのんびりと過ごしています。

小学生と幼児にとっては今までホーム

初めまして！
あかりホームです！

こどもの家あかり
保育士 坂 口 泰 司

児童養護施設
鳥取こども学園

の外に出れば誰かがいて一緒に遊べる環境から、そうではない環境に変わった事で「ヒマだあ」という声も聞くこともしばしば。高校生、大学生は一人ひとりの個室があり自分の時間を大切にすることがあったのですが、ほとんどの子がリビングのソファでゴロゴロ。児童養護施設があまり知られてない地域の中での生活。子どもたちも職員も今までの生活との違いに戸惑いを感じながらも新しい生活を楽しんでいます。

本園との大きな違いは食事。職員が買い物から調理までしています。慣れない食事作りも食べてくれる人がいるから頑張れます。頑張って作っているのが分かってから一生懸命食べます。そして、食卓からは自然に食事を通しての会話が生まれてきます。本園の時にはあまり見られなかった事です。改めて、食事の大切さと大変さを実感しています。

この様な環境で共に育ち合い「あかり」のみんなで笑顔の絶えない温かい家になっていきたいと思っています。

職員の自己紹介



つくしホーム
澤 田 智 宏

つくしホームで働いています澤田智宏です。

男子ホームということで外でスポーツをする機会が多く、こどもの上達ぶりには驚かされています。

料理を作る機会があるのですが、あまり得意ではないのでみんなに盛りつけや味の感想を聞きながら試行錯誤しています。



つくしホーム
伊 藤 佐 知 子

五月からつくしホームで勤務しており、ようやく二週間が経とうとしています。

仕事を覚えるのに追われる毎日ですが、周りの職員の方々に支えられながら子どもたちや保護者の皆様と良い関係を築けるように頑張ろうと思っています。

よろしくをお願いします。



たんぼぼホーム
安 井 悠

四月よりたんぼぼホームで一緒に生活している安井悠です。

まだまだ頼りなく、ご迷惑をおかけしてばかりですが、笑顔を忘れずがんばっていききたいと思っています。

日々の生活を通して、子どもたちと共に成長していきたくです。

よろしくをお願いします。

児童養護施設「鳥取こども学園」施設会計決算書

収 入

(単位:円)

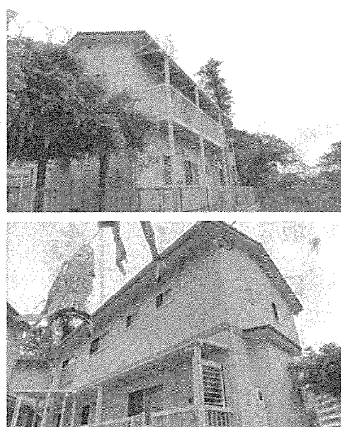
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	229,901,000	230,941,601	1,040,601
補助金収入	10,325,000	10,326,538	1,538
寄付金収入	3,169,000	3,469,200	300,200
雑 収 入	3,165,000	2,954,532	Δ 210,468
受取利息収入	3,000	2,937	Δ 63
繰入金収入	0	0	0
前期末支払資金残高	0	5,232,220	5,232,220
合 計	246,563,000	252,927,028	6,364,028

支 出

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	169,516,000	169,515,760	Δ 240
事務費支出	13,756,000	14,005,878	249,878
事業費支出	43,663,000	44,328,881	665,881
元利償還金支出	4,603,000	4,602,128	Δ 872
繰入金支出	1,027,000	1,027,000	0
固定資産取得支出	2,161,000	2,469,276	308,276
積立預金積立支出	0	0	0
合 計	234,726,000	235,948,923	1,222,923

収入支出差引残金 ¥16,978,105 - は次年度繰越



平成二四年度秋から着工した乳児部増築工事が四月三〇日に完成し、追加工事が備品購入設置後に使用開始の予定です。一階に面会室・職員室・プレールーム、二階はどんぐりホールの新しいお家になります。単独ホールとしての不安と期待がありますが、じっくりと形を積み上げて、子ども達の心に楽しい思い出をたくさん残す営みを職員は模索しているようです。本体施設も少し手を加え、かりんホーム・くるみホームもスペースを拡げて生活出来るように今年度中にします。

今年度は当初から一五名の入所と定員一杯での生活、且つ、幼稚園児も三名と余裕のないスタートですが、子ども達の安全と健康を祈りながら歩みますので、ご支援よろしくお願い致します。

乳児院
鳥取こども学園乳児部

保育士
内 藤 奈 巳

五月七日より、どんぐりホームで働きはじめた内藤です。分からないことはありますが一生懸命頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

保育士
松 尾 美 幸

こんにちは。四月から乳児部のかりんホームで勤務しています。松尾美幸です。日々の生活の中では、子ども達の成長に驚きと発見でいっぱい입니다。子ども達と一緒に自分自身も成長していきたいです。元氣な子どもに負けないくらい元氣に笑顔で頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

児童指導員
河 山 高 典

初めまして今年度より鳥取こども学園乳児部職員として勤務している河山高典と申します。周りから「怖い顔」と言われるので子ども達に泣かれないかと心配していましたが今では余計な心配だったと胸をなでおろしています。子ども達と「心と心」で楽しんでいきます。

職員の自己紹介

乳児院「鳥取こども学園乳児部」施設会計決算書

収 入

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	153,128,000	153,309,568	181,568
補助金収入	11,476,000	11,476,160	160
寄付金収入	194,000	206,000	12,000
雑 収 入	595,000	893,099	298,099
受取利息収入	4,000	7,702	3,702
積立預金取崩収入	0	3,000,000	3,000,000
前期末支払資金残高	0	4,408,414	4,408,414
合 計	165,397,000	173,300,943	7,903,943

支 出

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	128,713,000	128,356,570	Δ 356,430
事務費支出	6,124,000	5,884,724	Δ 239,276
事業費支出	10,622,000	10,483,371	Δ 138,629
元利償還金支出	1,422,000	1,422,520	520
繰入金支出	782,000	782,000	0
固定資産取得支出	620,000	14,020,991	13,400,991
積立預金積立支出	0	3,000,000	3,000,000
合 計	148,283,000	163,950,176	15,667,176

収入支出差引残金 ¥9,350,767 - は次年度繰越

情短施設

鳥取こども学園希望館

希望館を
建て替えるのだ

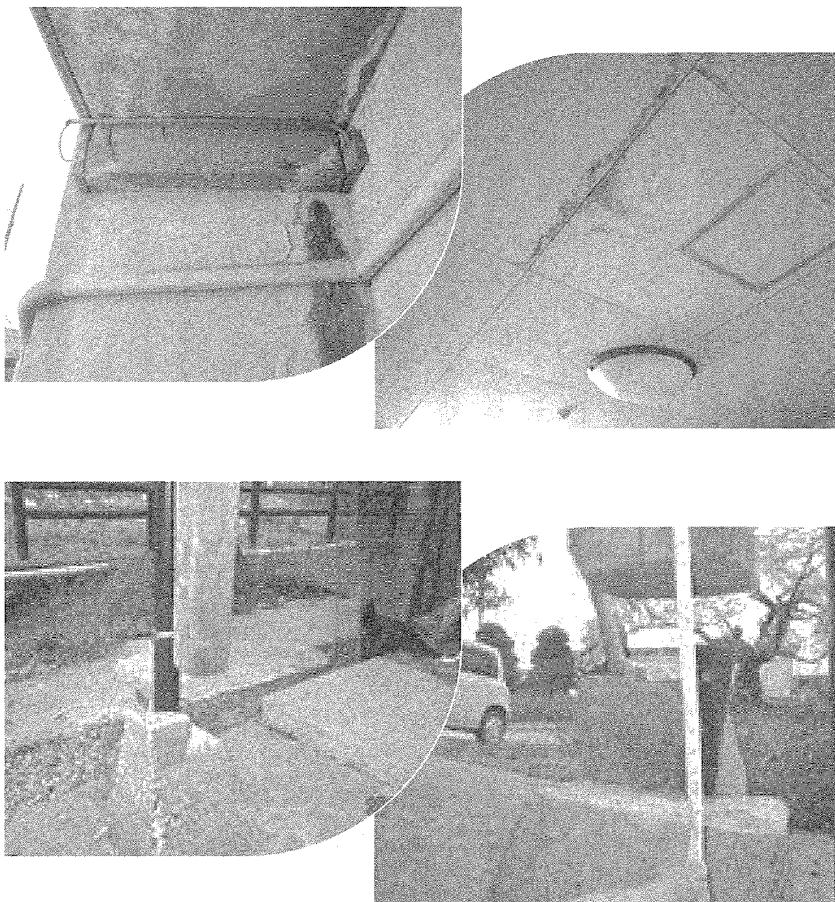
館長 西井 啓二

チャレンジの 때가やってきました。計画スタートから三年目になった新しい希望館を建設するチャレンジです。子ども達に訊ねると「廊下が傾いている」、「扉がゆがんでいる」、「狭い」、「フライパシーが欲しい」等々いろいろな意見が届きました。希望館(第一児童棟)は一九七三(昭和四八)年に竣工しました。この年は大関琴櫻が第五三代横綱に昇進、山口百恵さんが「としごろ」で歌手デビューした年なのですが、子ども達には解ってもらえないと思いますが今年でちょうど四〇才を迎えます。人間なら働き盛りの世代ですが、この四〇年間子ども達の生活の場として大活躍をしてかなり疲れが来ているようです。

長く尽くしてくれた第一児童棟に感謝しながらも、改築してもっと快適で子ども達が主人公にふさわしい生活の場を創り出そうという計画の最終段階を迎えています。昨年度は具体的なホーム構成や部屋の広さや種類、使い方をプランして

きました。子ども達の意見も聞きながらスタッフの皆さんが考えついた新しい建物は壮大なプランとなりました。これも全国の情緒障害児短期治療施設で全体を小規模グループケアのシステムとしているのは希望館だけということもあって、私たちは最先端の取り組みをしていると自信を持たなくてはなりません。だからこそ、全国のどここの施設よりも一歩

進んだ施設設備を考えました。平成二五年度は子ども達と職員の力を結集して、基本設計と県や市への補助申請に取り組みます。皆さんも是非、希望館の子ども達とスタッフの夢と希望の実現を見守ってください。ただし、改築に子ども達と職員の力だけではどうにもならない大きな課題があることも確かです。御理解と御協力を御願います。



情短施設「鳥取こども学園希望館」施設会計決算書

収 入

(単位: 円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)
措置費収入	184,035,000	183,253,038	△ 781,962
補助金収入	25,827,000	25,837,558	10,558
寄付金収入	1,832,000	1,700,000	△ 132,000
雑 収 入	493,000	548,281	55,281
受取利息収入	5,000	4,140	△ 860
積立預金取崩収入	15,161,000	23,176,661	8,015,661
前期末支払資金残高	0	1,640,702	1,640,702
合 計	227,353,000	236,160,380	8,807,380

支 出

(単位: 円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)
人件費支出	145,143,000	144,298,044	△ 844,956
事務費支出	10,964,000	11,794,621	830,621
事業費支出	28,499,000	28,146,025	△ 352,975
元利償還金支出	813,000	812,460	△ 540
繰入金支出	702,000	702,000	0
固定資産取得支出	37,682,000	37,827,716	145,716
積立預金積立支出	0	0	0
合 計	223,803,000	223,580,866	△ 222,134

収入支出差引残金 ￥12,579,514 - は次年度繰越

保育所
鳥取みどり園

わくわくドキドキ
「笑顔」がいっぱい

園長 田 淵 陽 子

鳥取みどり園では、昨年の二月に待望の乳児棟が完成し、今年の二月には竣工式を終えて、新しい園舎での生活が始まりました。

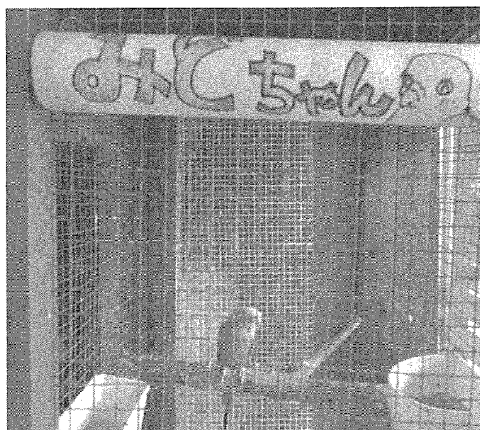
新園舎は、木の香りのするやさしさや温もりの溢れる、また、陽さしもたっぷり入る明るい建物です。幼い子ども達が快適に過ごせる環境ができましたことは、皆さまのお力添えと感謝いたしております。ありがとうございました。

四月には、定員を二六〇名とし、新しく新入園のお子様三三名を迎えて園児一六七名、職員三六名（産休、育休者含）で、スタートしました。二ヶ月程たった今では、小さな赤ちゃんも自分の担当の保育士がわかり泣いていても担当の保育士にあやされたり抱かれたりするとニコニコと笑ってかわいい笑顔が見られるようになりました。乳児棟には〇歳児、一歳児、二歳児の三つの保育室があります。一つ一つの部屋は広いのですが、一人の保育士は三人から六人（年齢に応じて）

の子どもを担当し、少ない人数で過ごす事で、信頼関係や愛着関係を深め、安定して過ごせると考えています。三歳以上児クラスは年少児、年中児、年長児の三つの年齢が一緒に過ごす異年齢クラス編成で、日々過ごす中で相手を思いやる、慕う、尊敬するなど人間関係が広がったり深まったりすると思っています。

園は昭和二六年に創立されましたが、今、新しい世代に変わろうとしており、創立当時からキリスト教保育、緒先輩から受け継いだ保育を伝えていく事が急務となってきました。また、時代とともに子どもの姿や家庭のあり方が変化してきており、一人ひとりに寄り添った支援や配慮が求められています。そして、私たち乳幼児期を預かる保育園には人間形成の基礎を育てる役割があり、その責任は大きいと感じています。そのため、原点に戻った研修をと、「食育を考える」「体力つくりを考える」「表現の場である行事の持ち方を考える」「人間関係の充実、広がりを考える」それぞれのチームを作り歩み始めました。

これまでは工事のため、駐車場、工事現場となっていた園庭が本来の園庭になり、園児たちは力いっぱいかけっこをしたり、園庭の隅から隅まで歩きまわったり、虫探しや草花みつけを楽しんでいます。



今年度は昨年できなかったバザーを六月二日に計画したり、今までのように園庭で運動会ができるの楽しみにしています。「何して遊ぼうかな」の『わくわく』

保育所「鳥取みどり園」施設会計決算書

収入 (単位：円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
運営費収入	126,608,000	126,458,980	△ 149,040
補助金収入	14,835,000	16,842,826	2,007,826
子育て支援センター 委託事業収入	7,400,000	7,413,000	13,000
利用料収入	700,000	787,250	87,250
雑 収 入	75,000	76,394	1,394
受取利息収入	5,000	4,455	△ 545
借入金収入	47,700,000	47,700,000	0
積立預金取崩収入	10,580,000	3,568,000	△ 7,012,000
繰入金収入	200,000	200,000	0
前期未支払資金残高	89,597,000	89,596,667	△ 333
合 計	297,700,000	292,647,552	△ 5,052,448

支出 (単位：円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
人件費支出	127,978,000	127,447,054	△ 530,946
事務費支出	9,487,000	9,295,787	△ 191,213
事業費支出	17,652,000	17,689,212	37,212
固定資産取得支出	142,433,000	138,074,846	△ 4,358,154
元利償還金支出	150,000	140,213	△ 9,787
合 計	297,700,000	292,647,112	△ 5,052,888

収入支出差引残金 ￥440 - は次年度繰越

「なにが見つかるかな」の『ドキドキ』友だちや保育者と元気がいっぱい遊んで『えがおがいっぱい』園児も職員も『わくわく・ドキドキ・笑顔がいっぱい』そんな鳥取みどり園をめざして頑張っています。どうぞよろしく願います。

今年も子ども達のかわいらしい声とともに、スタートしました。そんな子ども達を玄関でいつも迎えてくれるセキセイインコが一羽います。そのインコは『吾輩は猫である』と同様に、「名前はまだない」と言う事でさつそく子ども達に名前を募集した所たくさん応募がありました。厳選の結果『みどちゃん』に決まりました。

子ども達をこれからもかわいらしくお迎えします。

職員の自己紹介



保育士

下 谷 恵理子

今年より鳥取みどり園で働かせていただいております。子ども達のパワーに負けないくらい、元気なのが自分のとりえだと思いい日々、園庭を駆け回っています。どんな小さな発見も子ども達と見つけ、楽しんでいきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。



保育士

前 田 愛 生

昨年九月から働かせていただいています。いつ

も子どもたちに笑顔と元気をもらいながら、楽しい日々を過ごしています。新しい春を迎え二年目になる今年は、昨年学んだ事を活かしつつもつと学んで行きたいです。よろしく願ひします。

診療所

二つめの発達クリニック

臨床に必要な知覚

— 胎児期〜乳児期の

知覚を呼び戻して—

院長 川 口 孝 一

何年か前から道に迷うようになってしまいました。加齢による影響は勿論あると思いますが、それだけではない様に思ひます。私は元々優柔不断で選択肢が多いと、それぞれの選択肢のいろいろな側面長短を考えてしまつて、直ぐに決められませんが、例えば出張にどのバックを持って行くか等についてもです。両手が空くバックバックにするか、荷が重いのでキャスター付きバックにするか、空港に着いて直ぐ出られるように機内持ち込み

出来る手提げバックにするかとか、(確率的には少ないが) いざと言う時にはこれが役立つかもしれない、でも荷物が増える面倒とか、いろいろ考えてしまひます。そんなところは以前から多少あったのですが、道に関しては第六感が冴えていて、野生の勘には自信がありました(街でも山でも)。ところが近年その勘が鈍つて来たのです。いつ頃からだろうと考へてみると、カーナビや携帯ナビを使うようになった頃からのように思ひます。私に限らず人間は科学技術の進歩により便利な文明の利器(道具)を手に入れることによって、動物として生来的に持っていた野生の力を失つて来ているのではないのでしょうか。『言葉』も人間の獲得した最も優れた道具の一つだと思ひます。『言葉』は自分の意思を表現したり伝えたり、相手の意思を理解したりする時にとても便利な道具です。しかし時に相手を傷付けたり、誤解やトラブルを生じさせたりもする怖い道具でもあります。『言葉』がコミュニケーションの道具として使われる時、単に文字面通りの使用だけでなく、比喩、皮肉も加わったりするため、それを解していないと誤解やトラブルが生じてしまひます。いわゆる『自閉症スペクトラム障害』特性のある方(血液型A型の人と同じ割合の7%位

おられるという調査結果もあり、『障がい』と言う言葉は適当ではなく、『タイプ』と言った方が良いかもしれません。)の生き辛さは、人の気持ちが解らないから(実際私が出会う方々は、心を通ひ合える、共感し合える人はかりです。)ではなく、素直に文字面通りに『言葉』を解してしまひ、便利なのは『言葉』に逆に惑わされて生き辛くなつておられるのです。『言葉』をコミュニケーションの道具として使うためには、その基礎に『非言語的コミュニケーション能力』が必要です。ですから赤ちゃんはそれを育てるためにしばらく『言葉』を使わないとも言えます(『使えない』から良いのです)。

ミスター・チルドレンの『SENSE』と言うアルバムの中の『擬態』と言う詩は、メタファー(隠喩)を多用した難解な詩ですが、現代社会を良く表している名曲だと思ひます。その中に『量を得た者はそつでない者より満たされていつて思つてゐる!? 障がいを持つ者はそつでない者より不自由だつて誰が決めるの!? 目じゃないとこ耳じゃないとこかを使つて見聞きをしなければ見落としてしまふ何かに擬態したものばかり』と言う一節があります。私たちがそんな社会やそこで生きていく人々(自分自身を含

診療所「こころの発達クリニック」施設会計決算書

収 入 (単位: 円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
医業収益	29,336,000	29,634,427	298,427
医業外収益	1,000	708	Δ 292
合 計	29,337,000	29,635,135	298,135

支 出 (単位: 円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
医業費用	27,406,000	27,312,867	Δ 93,133
医業外費用	18,000	18,000	0
合 計	27,424,000	27,330,867	Δ 93,133

収入支出差引残金 ￥2,304,268 - は次年度繰越

る滝河真理です。



四月から、支援センターで働かせていただいています。

滝河 真 里

セラピスト

職員の自己紹介

児童家庭支援センター「希望館」子ども家庭支援センター「希望館」

む)をより良く理解するためには、言語的コミュニケーションだけではなく、五感だけではなく、まだ残っているかもしれない胎児期〜乳児期にあった無様式知覚(まだ分化していない知覚)を呼び起こし、それも駆使して理解していく必要があります。

私もすぐ近くに乳児部さんがあるので、赤ちゃんパワーを頂きつつ赤ちゃんから教わって行きたいと思うのですが、なかなか伺えずにいます。実は赤ちゃんとお母さんの短い声掛けのやり取りの中(コミュニケーションの音楽性)コミュニケーション・ミュージカリティ(communitative musicality)にも、私たちが学ぶべきものがたくさんあるのです。これについては、また次の機会にお話しさせて頂きます。

三月に大学院を修了し、支援センターに來させていただきました。

これまで、実習等で、子どもさんや子育てに不安を抱えておられる親御さんと関わらせていただく機会がありました。

その際に、子育てに不安を抱えておられる親御さんやそのお子さんへ何か少しでもできることがないだろうか、という思いを持ちました。そのような思いから、支援センターに來させていただきました。

センターの業務では、相談に來られる方や電話される方が話される悩みや気持ちに対し、受けとめ、どのように支援をさせていただくかを、親御さんやお子さんと一緒に考えていく、ということが求められると思います。

その際に、他機関や職員同士との連携していくことも重要であると思われま

さらに、学園の行事などを通して、施設内の子どもたちと関わらせていただきたいと思っています。

これから、そのような支援を行えるよう、日々、精進していきたいと思っております。

みなさまには、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうかご指導のほどをよろしくお願い致します。

子ども家庭支援センター「希望館」施設会計決算書

収 入 (単位: 円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
補助金収入	12,660,000	12,660,000	0
繰入金収入	460,000	824,559	364,559
合 計	13,120,000	13,484,559	364,559

支 出 (単位: 円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	11,599,000	12,230,652	631,652
事務費支出	1,521,000	1,253,907	Δ 267,093
合 計	13,120,000	13,484,559	364,559

収入支出差引残金 ￥0

里親支援機関

里親支援とっとり

三年目に思うこと

里親委託等推進員

吉 田 信 彦

早いもので、当所が里親支援機関事業を受託して三年目を迎えました。

思えば「本当に君たちに里親支援ができるのか？」と問われたのは遠い昔。今では里親さん方と頻繁に連絡、相談しあう毎日です。

連絡の中身はもちろん、より良い養育や、里親会運営や、里親委託推進などについての意見交換が主なのですが、それにより、養育家庭の日々の何気ないエピソード、よしなしこについてのおしゃべりを楽しんでいます。

子どもにとって最も良い「家庭」というフォーマットは、孤立を招く諸刃の剣でもあります。里子を養育する悩みは、誰にでもおいそれと話せるものではなく、里親養育はともすれば「孤軍奮闘」になりかねません。里親制度の発展には、里親さんの想いに寄り添い伴走する者が必要です。

私どもの機関の名称には「支援」という言葉が入っていますが、上から目線で

一方的に、力を貸して支えるというような気持ちでは取り組んでいません。悩みに寄り添い、共に歩んで行きたいと思っています。その上で、子育ての喜び、楽しみを共有させてもらえたら、これほど有難いことはありません。よしなしこをおしゃべりしながら、そんなことを思っています。

■■■■■■ 里親支援機関「里親支援とっとり」 ■■■■■■
施設会計決算書

※精算報告額

(単位：円)

科 目	収入・支出額	備 考
鳥 取 県 委 託 費	7,847,241	人件費、活動事務費等

自立援助ホーム
鳥取フレンド

寮長 山 中 友 子

今年度、鳥取フレンドは、男子二名、女子四名（うち一名は一時保護、一名はステップハウスの計六名でスタートしました。現在は全員が就労して、生活しています。

昨年度中に、退所していった子どもたちは、九名います。グループホームへ移って、仕事は変わらず、マイペースで生活している人。貯金をして、念願のアパート自立をした人。など、必ずしも皆が、万全の状態で退所した訳ではありません。こちらとしては、再入所もありうることを想定しますが、その時の本人が納得できるようにと考え、退所に至った人もいます。これまでのOB、OGの状況、又、声をきくと、『自立援助ホームに何が求められているのか』と考えさせられます。ケースバイケースですが、最近思うことは、次の三つです。

- ①お金の稼ぎ方と使い方。特に、使い方は大事だということ。
- ②日頃のわずらわしい手続き、ちよつとしたルールにストレスを感じないようになつてほしいこと。

③逆境を乗り越える気力を、応援してくれる、本人のキーパーソンが必要だと。社会に出ると、やはり、お金がまわらないことで、つまずくことが多く、一時的に用立てたとしても、また同様なことが起こります。自立援助ホームがそういう意味の拠点になることはできません。本人も「何とかしなければならぬ」と、気持ちは焦るけれども、漠然とした方法しか考えがつかず、ついには投げやりな気持ちになり、改善する方向で考えられなくなつてしまいがちです。そう考えると、フレンドに居る間に、主体性をもって生活をしてもらうことや、本人にとつての乗り越え体験を、できるだけしてもらうことが必要なのではないかと思えます。現実的には、やはり、子どもと意思疎通ができるかどうか、というところからになると思うのですが、そこが、一番の難関で、一人一人のこだわりや、生きづらさを日々、スタッフも見守ったり、一押ししたりしながら、生活をしている状況です。

自立を強いられたこの子たちが、私たちや、人々に元気を与えながら生き抜いていくよう祈りつつ、フレンドスタッフ一同、応援していきたいと思っています。今後とも、ご理解、ご鞭撻の程、よろしく願ひいたします。

自立援助ホーム「鳥取フレンド」施設会計決算書

収 入 (単位: 円)			
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
措置費収入	20,948,000	20,940,598	Δ 7,402
補助金収入	533,000	524,000	Δ 9,000
寄付金収入	161,000	160,900	Δ 100
利用料収入	1,373,000	1,387,000	14,000
雑 収 入	759,000	761,213	2,213
受取利息収入	1,000	1,038	38
前期末支払資金残高	0	2,580,006	2,580,006
合 計	23,775,000	26,354,755	2,579,755

支 出 (単位: 円)			
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
人件費支出	15,433,000	15,327,397	Δ 105,603
事務費支出	2,788,000	2,712,867	Δ 75,133
事業費支出	2,534,000	2,404,642	Δ 129,358
繰入金支出	89,000	89,000	0
固定資産取得支出	0	0	0
合 計	20,844,000	20,533,906	Δ 310,094

収入支出差引残金 ¥5,820,849 - は次年度繰越

自立援助ホーム
倉吉スマイル

寮長 田村 崇

今年で九年目を迎えました。四月は男
女一名ずつの二名での生活をはじめまし
たが、現在では一時保護を含め六名の子
どもたちが生活しています。

先日、スマイルに縁のある、ある子ど
もと話をしました。会話の中で「両親と
一緒に暮らしたくない人なんていない、
一緒に暮らしたいと思っているに決まっ
てるじゃないですか」と。とても胸に
突き刺さる言葉でした。児童福祉施設に
は、こんな思いを持ちながら、様々な理
由によって親元を離れ新しい生活をスタ
ートさせていかなければいけない子ども
がたくさんいます。そんな彼女らは、
不安、寂しさ、自己嫌悪、怒り、理不尽
さ、大人不信などいろんな気持ちを抱え
ながら、これから生きていくこととして
います。

縁あって彼女らと児童福祉施設で
出会い、生活を共にしていく我々児童福
祉施設の職員は、何を心がけ、何を大切
にしていかなければならないのでしょうか
？子どもの最善の利益はもちろんのこ
と、日々の生活の中でのやりとり、対話

の積み重ねがとても大切ではないかと思っ
ています。そして、ことも自身が、生活
の主人公は自分であると思えるかかわり
が大切ではないかと思っています。

一つでも多くの「スマイル」が生活の
中にあふれるよう、スタッフと力を合わ
せて毎日の生活を充実させていくと思っ
ております。「ご支援よろしくお願いい
たします。

職員の自己紹介

児童指導員 鷲見 智 明

今年度より倉吉スマイルで子どもたち
と生活をさせてもらっております。ひと
月経ちますが振り回され、右往左往する
ことばかりです。子どもたちは大いに人
間不信という振舞いを生活の中で表現し
てくれます。他者に迷惑をかけることも
あります。ですが、時折垣間見える優し
さや人を信じたいという想いに、それぞ
れの居場所や自信のなさ・自己肯定感の
低さを感じ、表面上の行動の意味を語ら
れたような想いにさせられます。そんな
想いを心に留めながら、「まあこんなこ
ともあるかなあ」と日々を送っておりま
す。何も出来ることが無いように感じら
れることも多々ありますが、こんな日々
を悩みながら一緒に歩いて行くことが大

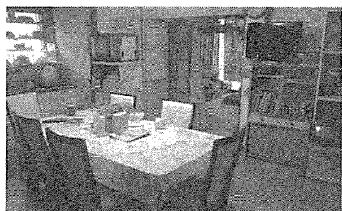
切なことと想って生活させてもらってお
ります。

児童指導員 徳 井 久美子

今年からお世話になってます徳井で
す。私がスマイルに来た時は、人数も少
なかったのですが、今では人数も増え毎
日にぎやかといいますが、日々バタバタ
と動いている今日この頃です。子どもた
ちと過ごしながら、私も一緒に成長でき
たらいいなと思っております。これから
もよろしくお願ひいたします。

補助員 伊 谷 進之助

四月から倉吉スマイルで働くことにな
りました。のどかな環境で、ゆつくり育っ
ている子どもたちと過ごしています。よ
ろしくお願ひします。



■■■■■■■■■■ 自立援助ホーム「倉吉スマイル」施設会計決算書 ■■■■■■■■■■

収 入 (単位: 円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	21,609,000	21,524,124	Δ 84,876
補助金収入	47,000	47,000	0
寄付金収入	90,000	90,900	900
利用料収入	60,000	43,000	Δ 17,000
雑 収 入	0	292,850	292,850
受取利息収入	1,000	393	Δ 607
繰入金収入	1,650,000	1,600,000	Δ 50,000
前期未支払資金残高	0	0	0
合 計	23,457,000	23,598,267	141,267

支 出 (単位: 円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	16,964,000	16,930,075	Δ 33,925
事務費支出	1,824,000	1,961,510	137,510
事業費支出	4,669,000	4,632,078	Δ 36,922
合 計	23,457,000	23,523,663	66,663

収入支出差引残金 ￥74,604 - は次年度繰越

地域若者サポートステーション事業
**とっとり・よなご若者
サポートステーション**

とっとり若者サポートステーションは六年目を迎え、今年度より西部を拠点としたよなご若者サポートステーションを開設しました。また以前から教育機関との連携を基盤にした、高校中退者等への訪問支援を実施してきましたが、今年度より学び直し支援にも取り組むことになり、支援の充実に取り組んでいます。それに伴って新しい仲間を迎えることになりました。

職員の自己紹介

【とっとりサポステ】



学び直し支援員
安 木 志 穂

四月からとっとり若者サポートステーションに勤務してあつという間に一ヶ月が経ちました。初めてのことはばかりでドキドキの毎日ですが、日々たくさんのことを学ばせていただいています。まだまだ勉強中の身ですが、いつでも笑顔で心がけ、私なりに一生懸命頑張りたいと思っています。どうぞよろしく願っています。



心理カウンセラー

湯 川 和 樹

四月からとっとり若者サポートステーションに

心理カウンセラーとして席をいただいています。初めての職場ということもあつて不安でいっぱいでしたが、職場の皆さんがとても丁寧に指導してくださり、今では大分慣れてきたかなと感じています。これから相談に来られた方の力になれるように、精一杯頑張りたいと思います！



事務員

藤 井 寛 史

とっとり若者サポートステーションに

四月いっぱいにはサポートステーションでの勤務なので学園内の仕事に直接関わっていないこともあり五月からの学園での業務を楽しみにしています。現在はいよいよサポステのホームページ作成ががんばっています。皆様と頑張っていきたいと思っていますのでよろしく願っています。

【よなごサポステ】



心理カウンセラー

北 農 佳 苗

四月からよなご若者サポートステーションで勤務しています。来所される方一人ひとりに寄り添いながら、福祉の原点を大事にして、希望をもってもらえるような関わりをしていくことができればと思っています。この機に自分自身を見つめなおしながら、来所される方々とともに、成長していきたいと思います。よろしく願っています。



学校連携事業推進リーダー

植 田 憲 治

この度、四月一日からよなご若者サポートステーションに勤務しております。若者の支援、特に学校連携事業の担当もしております。まだわからないことはありますが、『大きな共感力』をもって、学生達の『気軽な相談パートナー』として、就職・社会参加のためのお手伝いができればと考えております。



学び直し支援員

松 原 宏 和

四月からよなご若者サポートステーションでお世話になっております。私は、来所される方の想いを大切にした支援をしていきたいと思っています。しかし、そのような自分の想いだけではなく、ちゃんと知識や技術を身に付け、来所される方のペーを大事に考え、寄り添っていければと思っています。

とっとり若者サポートステーション事業
「とっとり・よなご若者サポートステーション」
施設会計決算書

※精算報告額

(単位：円)

科 目	収入・支出額	備 考
厚生労働省委託費	15,296,576	体制費、活動事務費
鳥 取 県 委 託 費	7,678,240	体制費、活動事務費、事業経費
鳥 取 県 委 託 費	3,362,202	体制費、活動事務費、事業経費



キャリアカウンセラー
浦 田 典 明

四月からよなご若者サ
ポートステーションでお

世話になっています。まだまだわからないことが多く、皆さんには迷惑をおかけしています。来所される方々のキャリア（人生）の選択がより良きものとなるように、自己研鑽を忘れず、来所される方々とともに歩み、成長していきます。

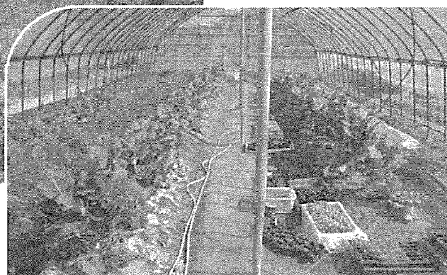
はまむら作業所
なんじゃもんじゃ

おかげさまで、はまむら作業所は、この五月に開設一周年を迎える事ができました。これも、はまむらの地域の皆さま、関係者の皆様のご支援の賜物とスタッフ一同感謝しております。今後とも変わらぬご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、今年は「挑戦と実践の年」。はまむら作業所のメンバー皆で、ビニールハウス等活用し、年間を通し安定した野菜の生産、また、一年を通し受託作業を積極的に受け入れるなど四月よりこつこつ就労活動しております。

また、本年は、生産活動だけでなく、地域生活を築くという事で、はまむら周辺に出て課外活動をしたり、敷地内で収穫物の販売や、和気あいあいと収穫物をつかい食事を楽しんだり、定期的に実践していきます。人どひとの関わりを大切にする事が、当事業所のメインの柱である事を、本年も忘れず、日々活動していきたいと思ひます。

最後になりましたが、年度末、赤い羽根共同募金のご支援賜り、はまむら作業所にテレビが購入できました。この場をお借りし御礼申し上げます。



職員の自己紹介



職業指導員
大久保 譲

こんにちは、気高町出身の職業指導員、大久保です。長年農協に勤務しております、今のはまむら作業所が行っている、野菜作り、販売など、少しでもお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

はまむら作業所「なんじゃもんじゃ」施設会計決算書

収 入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
就 労 支 援 入	1,900,000	465,039	Δ 1,434,961
福 事 業 収 入	2,739,800	3,128,459	388,659
(別 掲) 繰入金収入	6,810,200	7,197,979	387,779
合 計	11,450,000	10,791,477	Δ 658,523

支 出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
就 労 支 援 出	1,900,000	951,029	Δ 948,971
福 事 業 支 出	9,540,000	9,840,448	300,448
予 備 費	10,000	0	Δ 10,000
合 計	11,450,000	10,791,477	Δ 658,523

収入支出差引残金 ￥0

ひだまり

退所児童等アフターケア事業

職員の自己紹介

相談支援員 山中捷二

昨年を振り返れば相談者の対応に終始して十分なケアが出来なかったと反省しています。今年度、新しいベテラン・スタッフも加わり、ひだまりの利用者にとって昨年以上に活気ある場所になりたいです。皆様には今後もお世話に成ることが、多々あると思いますが、宜しくお願いします。

相談支援員 吉田 由喜江

四月からひだまりにお世話になっていきます。振り返れば鳥取子ども学園に保育士として初めて勤務させていただきました。歳を重ねてまたこのたびご縁をいただきました。感謝の気持ちとともに、微力ですが何か少しでもお手伝いできたらと考えています。着任して一か月余りですが中嶋理事長をはじめ、職員の方々の多岐に亘る日々の支援活動に奔走される姿を目の当たりにして、いろいろ勉強させていただきます。

たくさんご迷惑もかけることと思いま

《ひだまり職員写真》



《卒園生記念品贈呈》



3月2・3日
鳥取県内の児童養護施設・自立援助ホームをレインボーズのスタッフと訪問し、記念品を贈りました。

ですが、早くひだまりの一員としてお役に立てるように頑張りたいと思います。よろしく願います。

当学園事業へのご寄付 後援会へのご加入に 感謝申し上げます。

前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、後援会に賛同（会費納入）していただいた方々は、下記のとおりです。

心より感謝し、ご報告申し上げます。

寄 付 者 (2012. 11. 1～2013. 6. 7)

敬称略

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
山 根 茂	福寿須美江・みどり	国際ソロプチミスト鳥取 会長 徳 田 和 子	柴 田 和 仁
松 本 勲	坂 根 政 代	パチンコローマ	土 江 浜 代
清 水 雅 彦	(株)モリコー鳥取営業所	コ ー ル 坂 お も 圭 子	田 村 明 子
福祉相談センター	岩 田 美 代 子	秋 崎 る り 子	島 村 ジ ョ ー
年末チャリティー餅つき大会 山下 徹	福永裕子・柳川和子	勢 木 宇 太 郎	鳥取教会シオン会
山 根 章 明	田 村 明 長	小 原 隆 三	トットリ・アフトピア協会
尾 崎 倅 子	齋 藤 明 彦	渡 邊 哲 次	中 村 建 健 二 代表 中 村 健 二
谷 口 香 与 子	ホ ッ ト ほ っ と ク ラ ブ	福 田 眞 弓	あ い 中 一 川 淳 工 代表 中 一 川 淳 工
山 本 義 幸	大 平 千 恵 子	倉 古 ひ か り 法 律 事 務 所 辻 本 周 平	(株)アサヒメッキ
幾 野 裕 昭	市 谷 年 弘	海 藤 ひ ろ み	3 H の 会
葉 狩 理 子	(株)ヤマネ機材	慈 眼 寺	鳥 取 友 の 会

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
西 尾 瑠 璃 子	井 上 耕 介	百 村 佐 智	増 田 千 尋
㈱千代エンジニアリング	井 口 壬 生	岡 田 武	宮 崎 有 代
亀 本 良 一	正 林 督 章	林 敬 二 郎	三 木 康 二
小 竹 原 寛	尾 崎 美 幸	奥 野 隆 一	雨 河 一 就
井 上 裕 子	村 中 良 子	信 原 修	ユ タ カ 自 動 車 ㈱
塩 澤 洋 子	石 川 省 三	田 中 和 子	竹 下 敏 子
大 倉 幸 雄	湯 村 正 仁	村 尾 栄 子	竹 下 務
パ ル ス 電 工	広 谷 笑 子	尾 崎 三 智 子	田 中 耕 自
菜の花総合法律事務所 弁護士 駒井重忠 安田法律事務所 弁護士 安田寿朗	竹 内 内 科 医 院 竹 内 一 昭 梅 里 伸 正	前 嶋 佐 保 博	大 谷 恭 一
松 岡 菊 枝	高 力 房 枝	井 坂 靖 令	松 岡 京 子
小 長 井 賀 興	木 村 信 行	田 中 儀 衛	妙 元 寺 明 里 好 弘
堀 内 苑 生	日海通信工業㈱鳥取支店	山 口 登 貴 子	酒 巻 佐 代 子
浜 田 久 美	懸 樋 義 樹	タニグチ・ヘア・サロン 谷 口 義 明	谷 本 正 道
市 川 元 子	岩 本 純 子	藤 井 喜 臣	安 達 裕 見 子
生 田 百 合 子	中 嶋 哲 一	柏 女 靈 峰	谷 口 製 麵 代表取締役 谷 口 頼 雄
市 川 益 子	川 上 廣 枝	建 部 恵 子	福 嶋 庸 二
網 谷 憲 治	今 里 文 子	河 本 充 弘	沖 か ね 子
梅 澤 潤 一	宮 川 道 子	野 田 修	草 野 雅 昭
池 上 聡 一	村 山 嘉 次	長 谷 賢 二	高 橋 伊 佐 夫
橋 本 外 科 医 院 橋 本 本 科 英 宣	加 藤 和 徳	寺 本 美 奈 代	伊 達 季 代 子
吉 田 紀 之	松 浦 静 江	医 療 法 人 修 医 会 理事長 中 村 忠 文	奥 羽 徳 行
北 村 優 昭	(有)家電のきのした 代表取締役 木 下 敏 明	山 本 斎	叶 原 士 筆
小 椋 孝 昭	タグチレディースクリニック 田 口 俊 章	鳥 山 玲 子	齋 藤 禎 一
林 義 雄	日本基督教団鳥取教会	平 野 正 子	小 橋 房 子
巻 田 豊	松 山 義 博	大 覚 寺 ク リ ニ ッ ク 佐々木 知 啓	中 西 敏
武 永 裕 美	上 井 教 会	藤 野 興 一	ゆうわ総合法律事務所
山 根 一 夫	四 ツ 葉 会	愛 真 幼 稚 園	新 矢 槇 夫
鳥取あおぞら法律事務所 瀬 古 智 昭	鳥取市立若草学園職員一同	木 村 肇	菊 池 ト シ
(有)イナバ葬祭センター 代表取締役 光 浪 房 夫	鳥 取 み ど り 園	相 見 園 臣	安 田 俊 秀
藤 原 雅 夫	淡交会鳥取支部鳥取青年部	福 田 明 彦	川 口 明 子
山 口 公 一	蔵 本 美 知 子	大 同 端 子 製 造 ㈱ 代表取締役 大 坂 正 治	㈱ 中 井 脩
城 北 小 学 校 PTA会長 吉 澤 春 樹	(有)田中鉄工所 代表取締役 田 中 敏 明	杉 村 英 子	太 田 法 律 事 務 所 弁護士 太 田 正 志
大 角 美 佐 江	曾 我 修 道	日本キリスト教団用瀬教会	中 川 正 道
山 本 智 丈	岡 村 進 ・ 衣 織	医療法人社団萩原医院	森 本 志 津 江

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
八頭更生保護女性会	エキスパートチャリティ アソシエーション	岩 広 紳 二	常 井 幹 生
水本クリック 水本清	国際ソロプチミストアメリカ 日本西リジョン	福 嶋 巖	吉 岡 智 子
美保南民生児童委員	キママッズCLUB	(株)岸田ガラス店 代表取締役 岸田賢伸	中 山 裕 雄
美保民生児童委員	社会福祉法人あけの星会	吉 田 由 美 子	森 澤 直 義
倉田民生児童委員	プ ロ ミ ス	三 島 幸 子	武安泰雄・美和子
やまこう建設(株)	鳥取県共同募金会	木 村 和 子	堀 二 夫
池 田 晴 隆	磯 田 教 子	山 田 健 朗	植 田 望
岸 律 子	坂 根 ち さ と	米 本 萬 世	ド イ ア カ ネ
田 山 喜 久 雄	斎 藤 基 ・ 春 代	米 本 内 哲 人	江 谷 孝 明
吉 田 由 喜 江	橋 本 有 文	米 本 哲 夫	西村照子税理士事務所 西村照
白 井 道 子	谷 詰 万 寿 子	松 永 和 夫	庭 崎 恵
藤 井 重 明	横山勝・鈴木早苗・ 横山純一	藤 本 奎 吾	熊 谷 美 憲
米子信愛鍼治療院 松本剛典	木 村 宏	澤 田 孝 義	鳥 取 い な ば ライオンズクラブ
河 田 瑛 子	鈴 木 洋 平	浜 田 素 子	政 田 ま つ ・ 淑 子
井上仁・恭子・哲也	大 石 博 子	日本基督教団鳥取新生教会 医療法人きむら耳鼻咽喉科医院 理事長 木村寛	総合印刷出版株式会社
朝 倉 通 憲	高 垣 大 法	井 上 久 雄 ・ 早 苗	鳥取県労福協東部支部
古 川 潤 一	鳥取県教職員組合東部支部	濱 本 英 機	福 間 悦 夫
矢 田 さ つ き	松 原 千 恵 子	前 田 崇 明	浅 田 悦 子
小 谷 護	谷 垣 由 紀 恵	中 村 匡 子	渡 辺 隆 夫
天 德 寺	アルコパレーノ	鳥 取 商 事 (株)	山 下 弘 実
丸 山 順 子	田 村 愛 子	光 田 澄 子	山 田 金 庫 店 山田
他 無 名 氏	井 上 康 夫	山 下 孝 子	米 子 教 会
	前 田 悦 子	小 原 知 子	山 根 浩 子
	米谷食品センター 米谷健	鳥取ライオンズクラブ 会長 杉浦為佐夫	玉 木 敏 久
	杉 森 忠 篤	SBI子ども希望財団	金 田 隆 臣

物 品 寄 付 者 (2012.11.1~2013.5.31)

敬称略

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
中 川 康 恵	南 條 芳 浩	U F O 安 長 店	パ ン ド ラ の 箱
藤 原 ま り 子	稲 田 晃 一	市 谷 年 弘	U F O 扇 町 店
鳥取更生保護女性会 坂尻恭子	イ オ ン 津 ノ 井 店	鳥 取 廣 信 青 果	前 場 大 輔
(株)興洋工務店	地方紙正月連合企画係 森本	宇 田 川 隆 司	ス リ ー バ ー 鳥 取 店
進学塾ビー・ゼミナール 山口英晃・舞	ヤッホーキッズ事務局	大 隣 寺	U F O 秋 里 店
坂 田 澄 子	土 江 浜 代	日本ベビーフード協議会	フードバンク鳥取もぎの会
山 本 市 吉	家 具 の オ ク ダ	え が お (株)	奥 田
山 本 正 明	小 原 毅	スポーツ用品店ハート	川 口 真 由 美

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
四 ツ 葉 会	鳥 取 鶏 卵 販 売 ㈱	鳥取敬愛高等学校Sクラブ	梅 本 賢 司
大 樹 寺	中 村 博	修 立 小 学 校	坂 本 亨
オハヨー乳業㈱	株式会社 ニ ト リ	清 水 雅 彦	サ ン ク リ ー ン
中四国支店広島営業所	杉 本	谷 □ 秀 雄	宮ノ下小学校5年生
中国アイスクリーム協会	光琳グループ猪口吉野	浅 井 慶 紀	福 田 恭 子
江崎グリコ㈱	田 村 宏	れ と ろ	鳥取市佐治人権福祉センター
中四国冷凍統括支店	谷 □	倉 元 麻 美	全国シャンメリー協同組合
米子営業所	鳥取西地域包括支援センター	鳥取県中小企業団体中央会	竹 内 宙
㈱科学技術研究所	竹 本 芳 宏	山 陰 中 央 新 報 社	桑 本 茂 雄
かぎけん出版	井 上 信 正	フィリップモリスジャパン㈱	日本鏡餅組合 理事長 樋口元剛
坂 田 澄 子	大坪法子・小谷益男	松 本 勲	依 藤 厚 子
茗 荷 京	徳 田 商 店	黒 川 和 子	㈱サンアティラン鳥取支社
鳥取西ロータリークラブ	大覚寺クリニック 佐々木知啓	立 五 2 区 町 内 会	修立地区老人クラブ連合会 会長 安田謙三
㈱ガイアガイア紙屋町店	下 田 峰 子	岩 渕 明 美	美保南地区民生児童委員協議会
他 無 名 氏	河 合 雅 子	森 田 亜 季	㈱竹中工務店安全衛生協力会 山本正広

平成24年度 鳥取こども学園後援会収支決算書

自 平成24年4月1日

至 平成25年3月31日

(収 入)

科 目	当 年 度	前 年 度	比較増減(△)額	摘 要
後 援 会 費	400,000	415,000	△ 15,000	55件 (前年度66件)
貸 付 金 返 済	220,000	100,000	120,000	ひだまりより
雑 収 入	240	206	34	預金利息
前 期 繰 越 金	710,250	1,742,969	△ 1,032,719	23年度より
合 計	1,330,490	2,258,175	△ 927,685	

(支 出)

科 目	当 年 度	前 年 度	比較増減(△)額	摘 要
本部会計へ寄付	0	1,500,000	△ 1,500,000	
手 数 料	48,930	47,925	1,005	郵便局振込手数料
部 活 支 援	0	0	0	
貸 付 金	0	0	0	
雑 費	0	0	0	
合 計	48,930	1,547,925	△ 1,498,995	

収入支出差引残金の ¥1,281,560 - は次年度へ繰越

会費・寄付金は下記へお願いします

鳥取こども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取こども学園内

☎ (0857) 22-4206・21-9551 FAX 23-0242

振込口座名義：社会福祉法人鳥取こども学園 理事長 尾崎淑子

振込口座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3422812

鳥取銀行本店 普通 7645611

お 願 い

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設での出来事、様子等を報告する意味で発行しています。

同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考慮のことですので、ご理解いただきますようお願い致します。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。